

公共施設の耐震化率を問う

長濱好郎 議員



問 東南海地震がいつきてもおかしくないと言われている今、我が町の公共施設の耐震化はどのぐらい進んでいるのか。過去5年間の推移と県下市町村の耐震化率（ベスト10）、そして今後の施行計画についておたずねします。

平岡町長 本町の公共施設の耐震化につきましては、28施設の内24施設が耐震化を実施しており、平成11年度の北小学校の改修後、実施はしておりません。次に県下市町村の耐震化率につきましては、平成17年の耐震改修促進法の改正に伴い、県内の市町村が策定した「耐震改修促進計画」における耐震化率の高い順に申し上げます。耐震化率の第一位は山添村92・8%、第二位は吉野町90%、第三位は広陵町85・7%、第四位は御所市81・8%、第五位は安堵町81%、第六位は三郷町72・4%、第七位は明日香村71・4%、第八位は

上牧町70・2%、第九位は東吉野村68%、第十位は川上村66・7%の順位となります。また、県内市町村の平均は63%、奈良県は60%の耐震化率となっています。今後の計画といたしましては、昨年の耐震診断結果によるかぐや姫ホール、また役場本庁舎の改修計画も検討していく所存であります。残る2施設は母子寮跡（現学童保育施設）とグリーンパレスについても順次計画をいたしております。



耐震診断により改修計画されるかぐや姫ホール

住民のタメになる公共交通のやり方

青木義勝 議員



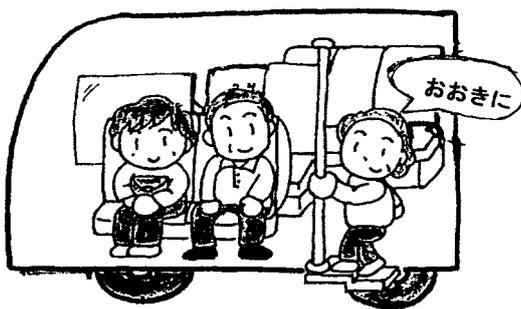
問 ①町提案の新公共交通システム（案）の概要を問う。4月26日の案の説明の全員協議会が町の都合で突然中止され、6月15日の全員協議会で提示があり、6月30日までに結論をと、県への申請が間に合わない。

と、県への申請が間に合わない。低く見積もっても、5ヶ年で約2億円弱を町の税金で補てんが必要なる事業である。私は、まるで発車間際の列車に飛び乗れとせかされ、拙速であると思う。十分に調査研究をして協議すべきと多数の議員の判断で、また、以前路線バスの試行運転の失敗の経緯もあり、特別委員会先進地の視察研修を行うこととなりました。②特別委員会では民間の専門会社等多面的に研究をしている。長野県安曇野市はデマンド交通（乗車30分前に予約料金は300円の乗合タクシー）朝夕運行で料金200円の路線バス方式の二本立て。岡山県総社市はデマンドのみ。私は本町の

面積、人口、地形を考慮して、また安曇野市の負担経費から試算しても町案より安くつくと思いい適している。当然より適合をさせるには、研究が必要。今後、住民利用者と町（財政、人口、ニーズ）等、お仕着せではなく、双方の身の丈に合った交通方式を協同で作成すべきだと思います。

平岡町長 先の6月の議会全員協議会において説明をさせていただいたとおりですが、国・県の財政支援を受け、奈良交通が自主運行する路線と町が運行するフィールダー路線を組み合わせたものです。議会特別委員会が方向を示していただければ、共に協議をいたします。

戸口から戸口へ



《予約乗合いタクシー》